

公表日 2025年 3月14日

	放デイ/ 児童		チェック項目	評価		工夫している点	課題や改善すべき点
				はい	いいえ		
環境・ 体制整備	共通	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	子ども同士の間隔が近い時は距離を離れたり別室で活動する提案を行っています。	デスクスペースとなっている箇所も思い当たる為、環境整備をしつつ適切な調整を行っていきたくと考えています。
	共通	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		適切に配置している。子どもの状態に応じて1:1の対応が出来るよう配慮も行っていきます。	
	共通	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	わかりやすい構造と親しみやすいように部屋の名前もついている。階段が多い施設なのでバリアフリーはできていないが、その分見守りを徹底している。	児発の子に対してテーブル等の物理的などところが合わせられていないところがある等、環境整備は日々考えながら改善しなければならぬと考えています。
	共通	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	80%	20%	支援終了後の清掃、消毒作業を行っています。活動を二手に分ける等でじゅうぶんな活動空間を提供できていると感じています。	放デイでは静の活動や宿題をする子にとって音漏れしすぎてしまう点を改善する
	共通	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		臨機応変に部屋の促しや子供の希望にそっている。	使用したい部屋の希望を聞くタイミングが定まっているわけではない為、使用したいが言いづらいという可能性も考慮していきたくです。
業務改善	共通	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		主に朝礼時、支援会議の開催によって行っています。	
	共通	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		出来る限り保護者様の意向に沿っている。送迎時や電話等で随時お聞きする機会も意識的に設け、改善していけるよう心掛けています。	
	共通	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		朝礼時、支援会議を中心に意見を出し合う機会を設けています。	より広い視野で意見を改善に繋げられるよう、偏りを無く意見を取り入れる環境を作っていきたいです。
	共通	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			検討中	
	共通	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		封書、電子メールでの案内があった研修については職員間で確認し、意義を考えながら積極的に参加するようにしている。	研修を受けた職員を中心として内部研修として共有を行っているが、時間の確保が不十分を感じる。聞いた人と聞いていない人が生じないように適切な共有を行っていきたく。
適切な 支援の 提供	共通	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		現在行っている支援内容を、公表用のプログラムとしてまとめ、作成しています。	
	共通	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		一人一人の状態を分析し、保護者様のニーズと今の子供の状況を踏まえて作成している。	
	共通	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		モニタリング前に職員会議を通してこどもの状況に対する意見交換を行い、モニタリングの案作成後、再度意見交換を行っている。	
	共通	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		日々の振り返り時に加え、2カ月に1回以上支援計画について目標が達成できているか等の確認を行い、支援方法を見直したり、達成する為に沿った支援をしています。	
	共通	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		特にインフォーマルなアセスメントに力を入れています。必要に応じてフォーマルアセスメントを基本としてインフォーマルでの情報を取り入れて支援方法のやり方に工夫を入れています。	
	共通	16	個別支援計画には、ガイドラインの「児童発達支援/放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		一人一人を考え項目に対して必要な事を設定しています。具体的な支援内容もその内容に応じた内容で設定しています。	
	共通	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	ミーティングの際に意見を出し合っています。こどもの状況を考えた活動の立案も行っています。	

共通	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		子どもの意見も取り入れたり、ゲームのルールを変えながら飽きず積極的に参加できるよう工夫しています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		個別、集団活動、お便りに乗せているスケジュールのほか、その時の状況を見て支援に沿ったプログラムの支援を提供しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		朝のミーティングで活動を見直し、打ち合わせを行い支援で気を付けるべきことを踏まえて内容確認し実施している。出勤時間、送迎等で伝えきれない職員へもLINEで共有を行っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		送迎終了後、必要な情報の共有を可能な範囲で行い、補足が必要な際は翌朝のミーティング時に合わせて行っています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	記録を取り、改善点は何か各職員が考え次回以降活かせるよう意識して行っています。	支援した職員＝記録を取る職員と100%一致とはなっていない為、情報共有の徹底に努めていきたいと考えています。	
共通	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		子供たちの日々の様子、学校の先生や保護者様からの話に耳を傾け、必要に応じてモニタリングを提案し見直しを行っています。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	80%	20%	設定された個別、集団活動以外の余暇活動において、出来る限り自然体で自主性を伸ばすなやり取り、創作意欲が向上するような提案を行う支援をしています。	地域交流の機会がまだまだ限定的なものになっている為、積極的に進めるよう工夫していきたいと考えています。	
放デイ	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		子供たちの意見を尊重する点においては特に力を入れています。意見を出すこと、決めることが苦手な子どもへの支援も日々試行錯誤を重ね実施しています。		
関係機関や保護者との連携	共通	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	20%	発発管、管理者が中心となっているがその時の状況を見てよく把握している職員が参加するようにしています。	意見に偏りが起こらないよう、会議へ参加する職員が事業所全体の意見として伝えられるよう、事前会議の機会を増やせるようにしたいと考えています。
	共通	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	40%	60%		
	放デイ	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		毎月下校予定表をいただいています。急な予定変更があった場合でも早急に連絡のやり取りをさせていただいています。	
	放デイ	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか。			必要に応じてご連絡し、当時の状況を教えていただいています。	
	放デイ	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		100%	対象の子がまだいませんが、今後行っていく予定です。	
	児発	31	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		情報共有は送迎時等に可能な範囲で行っています。共通する問題に対しては電話等で改めて確認し合い、今後の方向性を考えるよう努めています。	
	児発	32	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			対象の子がまだいませんが、今後行っていく予定です。	
	共通	33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			児童発達支援センターと必要に応じて連携を行っています。疑問に感じた点や確認したいことがある際には都度助言をいただいています。	
	放デイ	34	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	近くの公園等では遊具やスペースを共有する機会が多くあります。	職員が間に入ってやり取りを行うことがほとんどな為、子ども達同士の関わりも無理のない範囲で増やせるよう工夫していきたいと考えています。
	放デイ	35	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		100%	今後機会をみて積極的に参加していきたいと考えています。	
児発	36	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	60%	40%	児童館、地域イベントへの参加時、外出時に他の子どもと関わる機会もあります。	自然な流れで何となく関わるだけではなく、目的を持った関わり、活動をもっと行っていただけると考えています。	
共通	37	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		主に送迎時や電話等で状況や課題についてお話をさせていただいています。		

	共通	38	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%	保護者様の意見や状況を伺い、必要がある際に提案させていただきたいと思っております。	
保護者への説明等	共通	39	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		主に契約時のほか、必要に応じてモニタリング時にご説明させていただいております。	
	共通	40	子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		モニタリング時以外にも成長状況を踏まえ、保護者様やお子様意見を参考に	
	共通	41	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	100%		モニタリングを基に作成した計画書をお渡しの際に説明を行っています。	
	共通	42	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	60%	40%	送迎時にお聞きした際にその内容を共有、記録し面談時にもお話しできるようにしています。	
	共通	43	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		100%	働いているご家庭やご兄弟の状況により開催が難しいとみて行えていませんが、モニタリング時等に意見をお聞きして必要かどうか検討させていただいております。	
	共通	44	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		何か不安や疑問に感じたことがあった際はご連絡していただくよう日々からお伝えさせていただいております。ご都合に合わせての来所、お電話にも対応できる体制を整えています。	
	共通	45	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月お便りを発行し、直感的にその月何があったか、これから何があるかを把握していただけるよう努めています。	
	共通	46	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報のファイル等は鍵付きのロッカーにて保管、管理させていただいております。	
	共通	47	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		各お子様、保護者様のその時の状況にあった伝え方を考えお伝えしています。	
	共通	48	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%	招待等はまだ実現に至っていませんが、より地域交流を図りオープンな事業所を目指したいと考えています。	
非常時等の対応	共通	49	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		契約時や必要に応じてご説明させていただいております。入口にマニュアルを置き、いつでも手に取っていただけるようにしています。	
	共通	50	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		策定した計画を基に備蓄品を整えています。月に1回の頻度で各訓練の実施を行っています。	
	共通	51	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		契約時に確認させていただき、その他必要に応じて服薬についてや発作時の対応について確認を取らせていただいております。	
	共通	52	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		契約時にお聞きして、制限の有無を各職員が把握できるように共有しています。医師の指示所がある場合は提出のご協力をお願いしています。	
	共通	53	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画を作成し、各職員が確認できるよう掲示しています。研修や訓練、物品のチェック等にも気を配っています。	
	共通	54	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		契約時にご説明させていただき、施設入口に提示をしています。	
	共通	55	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		専用のノートを用いて事案があった際にはミーティング時に共有、防止に向けての意見交換等を行っています。	
	共通	56	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		定められた頻度で虐待防止研修を行っています。外部研修についても募集があり次第申し込んでいます。	
	共通	57	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	100%		拘束が必要になると考える場合には支援計画へも記載しています。やむを得ず行った場合はご家庭に説明と記録を取る対応。どのような場合に起こりうるか適正委員会開催時に意見をとりまとめ必要に応じて計画書の見直しをします。	